

町長あいさつ

■ 地域の活性化にも貢献するセンターに期待

精華町長 木村 要

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

平素は、精華町行政の推進にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、高齢者がその経験と能力を活かし、働くことを通じて地域社会に貢献し、生きがいを見出すことを目的に平成15年3月に発足されました精華町シルバー人材センターにおかれましては、ここ数年継続して立派な業績を収めておられますことに対して、敬意を表します。

これまでを振り返りますと、年々、受注件数が伸びていることや会員数が増加しておりますことは、貴センターの知名度が高まったことと、働く意欲のある方々が第2の人生を何等かの役割を担いたいと、ここに結集されていることの現れであり、健康保持の観点からも大変喜ばしいことと存じます。

このことは、川野理事長さまをはじめ、役職員と会員の皆さまのご努力が、住民生活の中にしっかり根を下ろしはじめた結果であり、心から感謝を申し上げます。

精華町は、今、限られた財源を有効かつ集中的に配分して、6つの重点政策の実現に取り組んでいます。

特に、「子育てしやすい健康長寿のまちづくり」は、

シルバー人材センターの皆さまに直接かかわる施策であり、貴センターの事業と深く関連しております。

私は、「人を育み未来をひらく学研都市精華町」という町の将来ビジョン実現に向けて、三世代が支え合うまちづくり、学研都市を活用したまちづくりを基本にして「ふるさと“ここ精華町”と誇れるまち」づくりに取り組んでまいりますが、さまざまな行政課題の解決には、いろいろな分野での町民の皆さま方のご協力、とりわけ永年の経験と知識、人脈で培われた貴センター会員の皆さまのご支援が欠かせません。

もちろん、シルバー人材センターの運営に対しましては、精華町としましても、できる限りの支援を惜しまない覚悟でおりますし、また、地域の活性化にも貢献していただくセンターとして大いに期待しており、引き続き、今までと同様に、連携を深めてまいりたいと考えております。

今後も、公益社団法人精華町シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



理事会等のうごき

■ 平成27年度第4回理事会

平成27年12月17日（木）

- 第11号議案 平成27年度第3次収支補正予算（案）の承認について
- 第12号議案 公益社団法人精華町シルバー人材センター個人情報保護に関する規程（案）の制定について
- 第13号議案 公益社団法人精華町シルバー人材センター特定個人情報事務取扱規程（案）の制定について

全議案を可決しました

表紙の写真について

農村では秋の収穫祭を終えた後12月には神様が山に帰られ、春になってまた里に戻ってこられるといわれます。

ここ水景園も観月橋の格子の後ろの石組のあるところは神様のお帰りになる場所で、春には水景棚や里棚田と呼ばれる棚田をデザインしたところに神様が戻ってこられるということになります。

正月の水景園では格子の後ろで神様が今年は、どんな年にしようかとあれこれお考えになっているのではないのでしょうか。

古瀬治男